



# 稲穂 学校だより

平成31年3月6日 第13号

市川市立平田小学校

校長 杉本雅彦

## ～結～

朝の陽射しの角度が高くなり、季節が確実に春に向かっていくことが分かります。

本年度も残りわずかとなり、子供達にとって大切な節目の時期を迎えました。

この一年の子供達の成長を見ると、体だけではなく心もしっかり育ってきています。ぜひ、ご家庭においても子供達の頑張りや成長を認め、励ましてほしいと思います。

さて、表題にある「結（けつ）」についてですが、結には、言うまでもなく連結など「むすぶ」という意味、また、終結など「終わり」という意味があり、正に、3月がそういう時期に当たります。それは、単に暦が進み時間が経過すると言うのではなく、現在の学年が終わり次の学年に結ぶ大事な一か月だからです。先日、ある先生の指導記録を読むと『学級で「蝶結び」に取り組んでいます』と書かれていました。見過ごしがちですが、しっかりと靴ひもを結ぶことができるか、我が子を思い浮かべてみてください。結び目を見なくてもできる、これだけでも大きな違いです。日常の当たり前を見直すことで、そこに目あてが生まれ、子供達にとって、小さな成功体験を味わえるチャンスが出てきます。

そこで、「今の学年で身に付けるべきことをしっかり修めることが出来たか」、「出来ていなければ学び返しが進んでいるか」、また、「次の学年の課題が何か分かり、その課題解決に向けた心構えが出来ているか」等、学校生活を子供達にしっかり考えさせ、一人一人、丁寧な仕上げとまとめを行い、次年度に繋げていきたいと思っています。

結びには少し早いですが、保護者の皆様、そして地域の皆様、平成30年度も平田小学校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



## 6年生と参加する最後の全校集会 ～命、そして思い出～

2月28日（木）に全校集会がありました。冒頭に、6年生と一緒に参加する最後の全校集会であることと、各学年の今年度登校する残りの日数を話しました。ちなみに、6年12日間、5年以下17日間（当日含む）だとわかると、「早い」と感じ、子供達も少しザワついていました。

話は2本立てで、1つ目は「野田市の小学校4年生、虐待死の事件」と「池江璃花子さんの白血病公表」のニュースについてです。野田市の件は、一番安心できるはずの家庭で起きた悲劇であり、全員がこの事件を教訓にしてほしいと思ったのです。また、日本のトップスイマーが突然発症した重い病に、世界中から励ましの声が届いていることで、池江さんの人柄と勇気を感じてほしいと思ったのです。

この2つの報道から「命」というキーワードが見えてきました。インタビューで、ある母親が「親は自分の命に代えてでも我が子を救いたいと思うもの。」と答え、池江さんの祖母は「水泳はいいから、ただただ生きてほしい。」と言われていました。胸にずしんと響きました。子供達には、「世界にたった1つしかない命を大切にして、学校も家庭も、温かい言葉と優しい心で包まれるようにしましょう。」と約束しました。

2つ目は、思い出についてです。6年生と面接をする中で、校長の私が小学校5・6年の時にほぼ毎日練習した「鼓隊」について思い出し、当時のばちを持参して小太鼓の演奏を披露しました。

子供達には、「小さいときに身につけたものは、大人になっても消えないし、できると嬉しいもの。今、何かに打ち込むものがある人は続けてみてください。」そして、先生方には、「子供達に、ご自分の小学生時代の思い出を話し、学生時代に身につけたものを披露してあげてください。」と話しました。各教室でのその後が楽しみです。



## 卒業を祝う会 ～体育館が、ありがとうでいっぱい～

2月26日(火)早くも6年生の「卒業を祝う会」を実施しました。各学年から6年生に対する「ありがとう」いっぱいのおし物には、笑顔になったり感動したり連続でした。中には目を赤くして涙する6年生も見られ、それを見た先生がもらい泣きする場面もありました。今年は、サプライズで先生方(杉ちゃんズ)からの歌のプレゼントもあり、他の学年の児童にも思い出に残る会となったようです。6年生からのお礼の合唱も素晴らしく、会場中の人聞き入っていました。ひな壇に座る6年生の中には、「こんなにも自分達のことを思っていてくれていたことに、心がジーンとした。」と話していました。最後に、全校で「栄光の架け橋」を合唱しました。その歌声がまた素敵で、参観に来られた6年生の保護者の方も、大いに感激されていました。また、この会を進行した5年生も大変立派でした。6年生は、この日を境に卒業へ向けて一気に走り出します。在校生も、次の学年を意識して成長してくれることでしょう。実に温かい時間が流れた集会でした。



## 5年生、ホワイトスクール ～成果も、満足もたっぷり～

1月21日(月)～23日(水)に、5年生がホワイトスクールに出かけました。目的地までのバスは、途中の遅れを挽回しながらも、予定よりやや遅れて「石打丸山スキー場」に到着しました。3日間の天候は、雪・雪・快晴でした。2日目までは、雪が降り続いていて、前が見えないくらい大変な時もありましたが、インストラクターのおかげで、安全に練習を続けることができました。初日で、早速リフトに乗って滑るグループあり、初めてスキー板を履いてゆっくり滑るグループありと、それぞれの楽しさを味わっていました。夕方にはホテルの前で、雪合戦やミニかまくら作りなどをして遊びました。雪国ならではの体験は、新鮮でワクワクすることばかりでした。2日目は新雪が、3日目は抜けるような青空が皆を迎えてくれて、意欲も気分も最高でした。子どもたちの上達スピードは、目を見張るものがあり、全員が滑れるようになって満足度も高かったです。「スキーっておもしろい!」「もっと続けたい」「今度は家族で来たい」と口にする子もいました。2日目の夜は、ホテルの食堂でレクリエーションを開き、学年が一丸となって楽しむ姿を見ました。3日間を通じて、時間を守り、まじめにレッスンを受けて、夜もしっかり寝た5年生。素晴らしい成果とたくさんの満足を胸に、無事学校に戻ってきました。



## 3年生、海苔漉き体験 ～昔の道具(七輪)は一味ちがう～

1月25日(金)体育館前のスペースに、行徳漁港から朝採れたばかりの生海苔が運ばれてきました。多くの保護者の皆さんにお手伝いをお願いし、3年生一人一人が「海苔漉き」の体験をしたのです。講師の篠田さんが見事な手さばきで海苔を漉くと、子供達からは「おー!」と歓声が上がっていました。実際漉いてみると、なかなか難しく苦勞する子も多かったですが、周囲の方に助けていただきながら、全員2枚ずつ仕上げる事が出来ました。生海苔のにおいや感触、乾くときの音など、五感を刺激するものばかりでした。さらに、2月5日(火)には、用意した餅と自分達で漉いた海苔を、昔の道具の「七輪」で焼き、その海苔を餅に巻いて食べました。平田小周辺に住んでいると、同じ市内でも、おいしい海苔が取れることに驚きを覚えます。貴重な体験とおいしい体験を同時にできた子供達の満足そうな笑顔が、とても印象的でした。お手伝いいただいた保護者の方と、コーディネーターの佐藤さんには、心から感謝申し上げます。



## 休み時間の避難訓練 ～8年前の、あの震災を忘れない～



2月8日(金)休み時間に大きな地震と火災発生を想定した避難訓練を実施しました。当日は西消防署の方に協力いただき、児童がそれぞれの場所において各自で身を守り、安全に避難できるかを見ました。全学年が真剣に取り組んでいる様子を見て、西消防署の隊長さんからも「落ち着いた訓練態度が、とてもよかった。」と褒めていただきました。あの東日本大震災を経験していない子供達が入学している学校現場で、風化させてはいけないことがあります。3月11日(月)の「市川市防災教育の日」には、シェイクアウト訓練をします。ご家庭でも、ぜひ話題にしてみてください。

### 3月の予定 (詳細は各学年だより等参照) ※は関連行事

日	曜	行事	日	曜	行事
1	金	ピカブーお話し会、※施設開放委員会	15	金	第66回卒業証書授与式
2	土	吹奏楽部定期演奏会	18	月	部会(生徒指導・若年層研修)
6	水	PTA役員会・委員会、3年そろばん教室①	19	火	職員会議、読書タイム(最終)
		6年ネット安全教室、たてわり清掃、5年ICT支援	20	水	給食最終日
7	木	3年そろばん教室②、※市川工業高校卒業式	21	木	(祝)春分の日
9	土	※施設開放団体による側溝清掃、資源回収	22	金	短縮3時間
11	月	市川市防災教育の日、卒業式予行	25	月	修了式
13	水	たてわり清掃(最終)	26	火	学年末休業開始(~4/7)
14	木	バ・件カ 給食、(卒)前日準備、※第八中卒業式	29	金	離・退任式